



2022年 2月 3日発行 会報 第1088号

今週のプログラム

(2022年 2月3日 第1088回例会)

【ZOOM例会】

卓話：コロナ禍を考える

担当：黒川 彰夫 会員

次週のプログラム

(2022年 2月10日 第1089回例会)

【ZOOM例会】

卓話：膝が痛い…

担当：松田 親男 会員

第1087回例会 (2022年 1月27日) の記録

<会長の時間>

水島 洋会長

皆さん、こんばんは。

アクサさん、ようこそ。

先週、先々週と2週連続で例会を欠席しました。申し訳ありませんでした。

さて、1月は地区職業奉仕月間にあたりますので、

本日は地区職業奉仕委員会の戸田 佳孝様に卓話をお願い致しました。また同委員会より
笹川 貴生様と武枝 敏之様にもご参加いただき、ありがとうございます。

約半年前に卓話をお願いした時に私から次のようにお話ししました。

「5年前の講演会で2012-2013年度 国際ロータリー会長 田中作次氏が最近の国際ロータリーでは職業奉仕はあまり重要視されていない、という発言がありました。またロータリーの友誌に掲載されたRI第2840地区 本田パストガバナーの『職業奉仕はロータリーの根幹か』の一文のなかで、日本のロータリーの職業奉仕の理念が世界の中でガラパゴス化するのではないか、という発言があると、ますますむずかしく思えてきます。」
本日は、戸田様のお話を通じまして、職業奉仕の考え方が少しでも理解できればと思います。限られた時間ですが、本日はどうぞよろしくお祈りします。



<本日のビジター> 地区職業奉仕委員 戸田 佳孝様 (大阪中之島RC)
 // 笹川 貴生様 (大阪RC)
 // 武枝 敏之様 (豊中RC)
 2021 学年度 米山奨学生 アクサ メイリアナ インタニさん

<出席報告>

会員数 (内出席免除会員 1 名)	17 名
本日の出席者数	9 名
(内出席免除会員 0 名)	
(名誉会員 0 名)	
本日の出席率	56.25%
1 月のホームクラブ出席率	59.38%

<ロータリーソング>

全会員

ロータリー ロータリー ロータリー	それでこそ ロロー ロロー	遠い時には 手を振り合おうよ	見つけた時には おいと呼ぼうよ	どこで会っても やあと言おうよ	♪それでこそロータリー♪
-------------------------	---------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------

<幹事報告>

山本 友亮 幹事

1. 地区危機管理委員会より、オミクロン株による感染拡大に伴うコロナ対策について感染防止の為の注意喚起の書簡が届きました。

❖ コロナ禍における例会・役員会及び委員会の開催における留意点

- (1) 密を避け、適切な距離を取る。
- (2) 黙食を徹底する。少人数で席の移動を避ける。
- (3) 換気が行われている。

会員の皆様におかれましては、コロナウィルス感染予防措置をしっかりと徹底頂き
 会合に参加される場合は体調を勘案し、決してご無理をされませんようお願い致します。

2. IM 第 2 組ロータリーデーの出欠回答がまだの方は、事務局まで E メールにてご返答を
 よろしくお願い致します。開催日は 2022 年 2 月 26 日(土)14:00~17:00
 開催場所は千里阪急ホテルですが、当日オンラインでライブ配信もされます。
 プログラムなどの詳細は 1 月 21 日にグループメール配信致しておりますので
 ご確認下さい。



戸田 佳孝様



笹川 貴生様



武枝 敏之様

「外向きの職業奉仕を通じてロータリーの公共イメージを向上させよう」

RI 第 2660 地区 職業奉仕委員 戸田 佳孝

2022年職業奉仕フォーラム 1月27日
2660地区職業奉仕委員戸田佳孝

**外向きの職業奉仕を通じて
ロータリーの公共イメージ
を向上させよう**

1月は職業奉仕
月間よ




自己紹介

2660地区職業奉仕委員
大阪中之島RC
戸田佳孝
1982-83年に2660地区ガバナー
戸田孝の次男
1998年から御堂筋線江坂駅前で整形
外科診療所を開業しています

開業後も手術をしない整形外科治療に関する研究を継続し、平成15年に日本整形外科学会学会奨励賞を、令和2年に日本臨床整形外科学会学術奨励賞を受賞しました。

千里メープル様の例会場の近くで開業しておりますので、これを機会によりしくお願いします。



職業奉仕には二種類あります。内向きの職業奉仕は、『ロータリアン一人一人が、日々のロータリー活動に参加する中で「奉仕の理念」を学び、それを自分の職場に持ち帰り、「奉仕の理念」「四つのテスト」に従って自分自身を律し、自分の職業で社会に貢献し奉仕しましょう』です。外向きの職業奉仕は、『クラブの対外的奉仕活動として、社会の問題やニーズに応えて、会員の職業上の手腕を役立てましょう！ 職業人の団体として、次世代に職業を語り伝えましょう!』です。

2780 地区の職業奉仕委員会が作ったホームページには『職業奉仕を内向きな倫理観、精神論を中心にとらえるのは、どうも世界中で日本ロータリー特有の状況である。日本では良い行動はことさらアピールしないという隠匿の美の思想があるからかもしれない。対して、海外のロータリーでは、「クラブの対外的奉仕活動」の手段として職業奉仕をとらえているようである。』と書いています。

2016年のRIの定款には「職業奉仕には自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるためにクラブが開発したプロジェクトに応えること含まれる。」という一文が追加されました。本田博己氏（「職業奉仕」はロータリーの根幹か？ロータリーの友.VOL65.NO.1:14-17,2017）は『2012年バンコク国際大会の分科会で、日本のロータリアンはお馴染みの「職業奉仕の理念」を熱心に語り、一方、欧米のロータリアンは「職業奉仕の活動」事例を語り、両者は噛み合わないまま分科会は終わった。「同床異夢」という言葉が頭をよぎった。これが日本ロータリーの「ガラパゴス化」を招いている一因だ。この世界と日本との違いを、「日本の理解のほうが正しい」とか、「職業奉仕は他の奉仕部門とは違う」として、クラブの職業奉仕の実践を否定する態度は間違っている。』と述べています。この記事が掲載された当時、『日本ロータリーの「ガラパゴス化」』という一節に対して反発する意見が「ロータリーの友」に多く寄せられました。しかし、現在日本のロータリークラブが抱える大きな問題点としては会員数の大幅な減少があります。2660 地区では会員数がピークであった 1997 年には約 5 千人に対して 2021 年現在では約 3 千人であり、約 4 割も減っています。しかも会員の平均年齢は高くなり、奉仕活動の実務を担えない高齢の会員が増えています。その原因として神崎茂様（大阪西 RC2011 年 2 月 14 日卓話「これからのロータリー」）は 3 K を挙げています。すなわち、高齢化、高コスト化、(クラブ運営の)硬直化（マンネリ化）です。会員数の減少を止めるためには新しい方針の奉仕活動に着手する必要があります。

2660 地区の宮里ガバナーエレクトは次年度の地区職業奉仕委員会 小谷委員長に『職業奉仕が「理念」であることは理解できるが、時代の変化を酌んでほしい。「理念」だけに固執しないでほしい。』と語られたそうです。メキシコでは大工のロータリアンが被災地で仮設住宅を建てることも外向きの職業奉仕として報告しています（ロータリーの友 2020年10月号18頁）。日本でも外向きの職業奉仕が重視されても良い時期だと僕は考えます。

大阪中之島ロータリークラブ職業奉仕委員会では「変形性膝関節症・老人性難聴・口腔ケアとの付き合い方」と題した出前授業を2020年9月24日に中之島朝日カルチャーセンターで行うことを企画しました。2016年に追加された定款に照らしますと、平均寿命が延びたと言っても、医療や介護の助けを借りることなく、自立した生活ができる年限である健康寿命は延びていないという社会の問題に奉仕事業に職業的手腕を生かすことを目標にしました。会場として朝日カルチャーセンターを選んだ理由は、授業の予定が自動的に朝日新聞紙面で紹介され、通常で借りれば高価なフェスティバルビル18階の大教室を無料で提供してくれるからです。カルチャーセンターの利点は講師料が不要で、4千円以上の会費を払って参加してくれる一定の客（ロータリアン）が確保される点です。受講者にとっては複数の講演を一度に聞けるという利点があるので、近江商人の商売の心得にある「三方よし」が実現できたと考えました。勿論、医療関係のセミナーでなくても例えば、複数の税理士による「知って得する税金の知識」や複数の保険代理店経営者による「知って得する保険の知識」といったセミナーでもロータリークラブの職業奉仕として会員が支援すれば新聞社関連のカルチャーセンターは協力してくれる可能性が高いです。

2022年4月28日には2660地区職業奉仕委員会が後援し、大阪東南RCと中之島RC合同で行う「100歳まで元気でいられる方法」と題した出前授業を大阪中之島朝日カルチャーセンターで行う予定です。<https://bit.ly/3ECIUje> から申し込みますので、今後の職業奉仕活動の参考にご参加のほどお願いします。

まとめます。それぞれの専門職からみれば、世間の人々が信じている常識のウソやちょっとした知識や工夫で生活が改善されることが沢山あると思います。そのような専門知識を卓話で培った技術で世間にわかりやすく伝えることをクラブが後援すれば、りっぱな職業奉仕になります。ロータリークラブが現在抱えている大きな問題として会員数の減少と高齢化があります。それを解決するためには新聞などのメディアを通じてロータリークラブの特徴である職業奉仕を世間に知って貰い、ロータリークラブの公共イメージを向上し、会員を増強することが大事だと僕は思います。

永遠に栄えよ。我らのロータリー。

